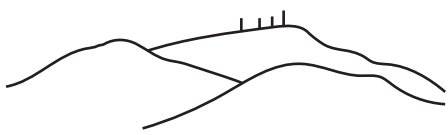


# Youth Manna

2022/4/18 - /4/24



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/4/18(月)

## ダニエル 4:19-37

①ダニエルは、暫くの間おびえ(19)、ネブカデネザル王の夢の解き明かしを

ダニエルは王にとって不都合なことでも、勇気を持って語ったね。どうしてそんなことができたんだろう？それは、これがダニエルの意見ではないだろうか。友達や家族に言いづらいことを言う時、神様からの確信によって、愛を持って語れるよう祈ろう！

②王は屋上で栄華を見つめ(29-30)、また天を見上げた(34)

「7つの時」を境に、王のしている視点は逆転した。この世の生き方は、かつての王のように、地上・足元にある問題ばかりを見るものだ。しかし、信仰者の生き方は、天を見、いと高き方をほめたたえ、賛美する(37)。問題に足を取られて思い煩ったり抱え込んだりせず、まず神様に祈ろう(ピリピ 4:6-7)。家の教会のみんなに話そう。問題ではなく最強で最高の相談相手であるイエスに目を留めよう(ヘブル 12:2-3、詩篇 119:24)。

2022/4/19(火)

## ダニエル 5:1-16

ネブカドネツアルの息子、ベルシャツアル王が大宴会を催した時、彼はエルサレムの神の宮から持ち出された器を飲食のために用いました。それは神様を冒瀆することになると知っていたはずでしたが、王様はお酒の勢いで一線を超えてしまったんだね。「ちょうどそのとき」、現れた人間の手の指が壁に文字を書くのを見て、王は色々と思いつらして恐怖しました。

神様を軽んじる心や恐れない心は、その人を高慢にし、非常に罪深い生き方へと繋がってしまうものだ。だけど、神様の介入によって、私たちは本当に恐れなければならない方が誰なのかを知って、自分の罪に気付かされるものだね。自分の中に、神様を恐れず、神様よりも優先してしまっているものはないだろうか。

2022/4/20(水)

## ダニエル 5:17-31

ダニエルは、ベルシャツアルの報酬の申し出を断った。報酬目当てではないことを示すことは、彼が神の預言者として働いていることを示すために必要であった。ダニエルは、文字が書かれたのはベルシャツアルが神を敬わないことに対するさばきの宣告であると告げた。前の王ネブカドネツアルのことを思い起こさせ、ベルシャツアルが神に向かって高ぶり、心を低くしなかったことを指摘している。最後にダニエルは書かれた文字の解釈を告げ、その直後、ベルシャツアルは暗殺される。

ベルシャツアルは、神の御心を知っていながら、神に従わなかった。「なすべき良いことを知っていながら行わないなら、それはその人の罪です。」ヤコブ 4:17

2022/4/21(木)

## ダニエル 6章

今日の箇所は誰もが覚えているであろうダニエルがライオンの穴に投げ込まれるところである。

ダニエルは王に次ぐ地位に就くようになり、それをよく思わない高官たちが、ダレイオス王をそそのかし、30日間王以外に対して祈ってはならないという禁令を制定させた。そしてそれを破ったダニエルはライオンの穴に投げ込まれたが、神様のみわざゆえに守られ、その後ダニエルを中傷した者たちが代わってライオンの餌食になった。

23節には、いかにダニエルが神様に信頼していたかが書かれているね。私たちも、どんな時であっても神様に信頼して祈る者となろう！祈りを生活の一部にしよう！

よい夫婦の日 2022/4/22(金)

## ダニエル 7章

【1-8節】四つの獣の幻

四つの獣は、バビロン・ペルシア・ギリシア・ローマを指している。2章でネブカドネツアルが見た夢と似ている。

【9-14節】天上の世界の幻

年を経た方(時間を超越した神)が御座についてさばきをする。13節では人の子のような方(イエス)に永遠の主権が与えられ、地のすべての人々が仕える。

【15-28節】幻の解釈

第四の獣の角が聖徒に勝利することがあるが、一時的なことではかない。ダニエルが動揺し、顔色を変えたのはなぜか？

2021/4/23(土)

## ダニエル 8章

今日の箇所では、ダニエルがメディアとペルシアという国についての幻を見て、天使ガブリエルがその意味を教えているね。メディア、ペルシアにギリシアが対抗し勝利をするけれど、そのギリシアもその後4つの国に分断されてしまう…このダニエルが見た幻は、300年くらい後に実際に起こっているんだ。

そして、その後出てくる「横柄で策にたけた1人の王」については「人の手によらずに彼は砕かれる」と記されている。

神様は歴史を越えて全てを治めているお方なんだね。今私たちが生きている時代も、そしてこの世界が終わる時も全てを持っている神様に心を向けよう。神様が立てている計画を聞いて、見出すことができるよう祈ろう！

2021/4/24(日)

## ダニエル 9章

ある時、ダニエルの心を捕らえたのはエレミヤ書 25章 11-13節の聖書箇所、そこから捕囚の年数が70年であることを知り、それが間もなく終わることを知り、そのみことばに押し出されるようにしてダニエルは断食し祈り始めます。罪の告白から祈り始め、そして罪の結果もたらされた神様の怒りからの救いをダニエルは求めました。

ダニエルが祈っている最中にガブリエルが再び現れて、ダニエルの祈りに対する神様からのことばを伝えます。24-27節がその箇所だね。そこには、捕囚の終わりを越えて、終末に至るまでの神様の大きな計画が示されていました。

ダニエルの祈りは預言のみことばに導かれた祈りでした。またダニエルは罪の告白をしてから願いをささげていました。今日のダニエルのことを覚えましょう！